

道徳授業地区公開講座(道徳授業公開・協議会)

＊いのちの歌＊



2025.12.10(水) 道徳授業 13:30-14:20
協議会 14:40-15:10

1 年生

《生まれてきてくれて、ありがとう》
東京都教育委員会「心を見つめて」
「生まれてきてくれてありがとう」
～助産婦からのメッセージ～
助産婦からのメッセージを通して
自身の生命の尊さについて考え、
生命を大切にしようとする心情を育てる



生きて行くことの意味 問いかけるそのたびに
胸をよぎる 愛しい人々の温かさ この星の片隅で
めぐり会えた奇跡は どんな宝石よりも大切な宝物
泣きたい日もある 絶望に嘆く日も そんな時そばにいて
寄り添うあなたの影 2人で歌えば懐かしくよみがえる
ふるさとの夕焼けの優しいあの温もり



本当に大事なものは隠れて見えない
ささやかすぎる日々の中に かけがえない喜びがある

いつかは誰でも この星にさよならをする時が来るけれど
命は継がれてゆく 生まれてきたこと 育ててもらえたこと
出会ったこと 笑ったこと その全てにありがとう
この命にありがとう

作詞: 竹内まりあ 作曲: 村松宗継

道徳授業

2 年生

《臓器移植》

道徳教科書「つながる命」
脳死と判定され、臓器提供をした6歳未満の
満の女児(Aちゃん)の家族が思いをつづ
った手紙を公表。お父さんとお母さんは
悩んだ末に Aちゃんの臓器を困っている
人に提供することにした。移植を決めた
家族、移植してもらった家族、それぞ
れの思いがある。人として何を大切にすべ
きか、生命の尊さ、**つながる命**を考える
きっかけとする



おくリンプラスを
使って意見を
みんなで
共有しました

3 年生

《助け合う社会を支えるひとりになる》
～血液事業から考える私たちの社会～
愛のかたち献血 広げよう献血の輪
高校2年生の時、10万人に1人が発症す
ると言われている急性リンパ性白血病と診
断された友寄蓮さん(ありがとうの手紙♡)
だれかの献血がいのちの時間をつなぐ。私
の中に流れているものは、皆さんの優しさ
と温かな気持ちです。顔の見えない誰かの
ために献血をするという行為は素敵だと思
います。
献血は**命をつなぐ大きなボランティア**です



いのちのボタンタッチ

愛されている「いのち」
限りある「いのち」
かけがえのない「いのち」
つながっている「いのち」
生かされている「いのち」
大切な自分の「いのち」
大切な仲間の「いのち」
あたり前にある「いのち」は
「きせき」なんだよ
むだな「いのち」なんて
ひとつもないんだよ
だから「生きる」んだ
生き抜く、支え合う
ありがとう
笑顔大切にしよう
限りある命を
どう使うかを問いかけよ
絶対、親より早く死んでは
いけない！
だいじょうぶ
きっと幸せになれるから



気付く: 「いのち」を意識する

考える: 他者や教材を通じて「いのち」の捉えを深める

行動する: 自他の「いのち」を大切に取る行動をとる

長く教科外活動として行われてきた道徳の授業が、小学校で2018年度、中学校では2019年度から教科として再スタート。各地で相次ぐいじめ問題が背景にある。「自分ならどうするか」を正面から問い、多面的に物事を考えて議論する道徳の授業が必要だと考えられている。



1 学年

学年ごとの

＊テーブルディカッション＊



3 学年



2 学年

協議会

